

第2回 千葉東沿岸海岸保全基本計画に係る検討会

～第1回検討会での意見および 対応について～

千葉県

第1回検討会(R4.8.31)での意見および今後の対応

番号	項目		発言者	意見・質問	会議での回答内容	対応方針
1	検討会の設置	委員の選出	A委員	技術検討会には、B委員が入っていない理由は？	下部組織の技術検討会は、気候変動の海面上昇に係る技術的な部分を検討するものとなっているため、専門家である委員長、副委員長、H委員にお願いしている。B委員には検討会に出席していただきご意見を頂くよう事前の打合せでお願いをしている。	(左記のとおり、回答済み)
2	気候変動を踏まえた海岸保全基本計画の見直しの進め方	防護	D委員	今回の計画で設定される堤防高は、何年先までの必要高なのか？ 堤防高を改修する度に改修コストがかかるのと、改修の度に海岸利用が制限される。	今回の検討は、気候変動の影響による海水面の上昇や潮位偏差・波高の長期変化を考慮するもので、2100年頃を想定したものである。示された堤防高を段階的に整備していくかは、今後のシミュレーション結果を基に会議で決めていきたい。 千葉東沿岸のそれぞれの地域の実情があり、海岸づくり会議で地域の意見を聞きながら県としてどこまでできるかを議論していきたい。	今回の気候変動を踏まえた高さの見直しは、あくまでも施設整備の目安高を策定するものであり、これを基に、今後、海岸づくり会議などで整備方針を議論していきたい。 その際には、段階的な整備や消波工との複合整備なども視野に入れたい。また、2100年頃まで今回の検討結果のままとする訳ではなく、新たな事象などを契機に定期的に高さの見直しを図っていくことは必要であると考えている。
3		環境・利用	F委員	高潮・津波対策として堤防で解決することを前提としているが、景観が非常に重要であるため、例えば消波工など堤防以外も含めた防護施設を含めた検討はできないか？		
4		環境・利用	E委員	山武市では東日本大震災の時に津波による浸水面積が県内で一番あり、波乗り道路の有無で大きく違いが出ていた。堤防による対策は十分理解できるが、景観にも十分配慮されるように縦割りではなく、部内で連携して進めてほしい。		
5		環境・利用	B委員	堤防の高さを議論することが主題ではあるが、平面的な計画についても議論していく必要がある。また、防災だけではなく、環境・利用も両立するようなものを考えていく必要がある。		

第1回検討会(R4.8.31)での意見および今後の対応

番号	項目	発言者	意見・質問	会議での回答内容	対応方針
6	気候変動を踏まえた海岸保全基本計画の見直しの進め方	海岸づくり会議	G委員 海岸づくり会議を平成27年から銚子で4回、平成30年度から勝浦市で2回実施しているが、今後どのような地区で展開しようとしているのか？	いすみ市では海岸づくり会議を実施することを計画しているが、具体的に今後どこからどのように実施していくかは現状決まっていない。	(左記のとおり、回答済み)
7		侵食対策・地盤沈下	H委員 前回の海岸保全計画立案時、いくつかの課題が残されたが、現在に至るまでそれらの課題は解決されていない。そのような状況下で、新たに地球温暖化対策に取り組むには、既往課題を再認識し、それらの解決と同時に新たな課題に取り組むことが必要である。 ①九十九里の養浜の実現化の努力が必要 ②一松海岸では護岸設置⇒護岸破壊が繰り返されており、課題として挙がっていたが、解決されていない ③南白亀川河口の浚渫土砂を用いて養浜しているが、短時間で流出し、長期的にみると効果がみられない ④地下水のくみ上げによる地盤沈下は海面上昇と同じ結果をもたらしている	九十九里浜の侵食対策とか地盤沈下は、海岸づくり会議と別に考えておらず、検討しなければならないと考えている。一方、地盤沈下に対してどこまで対応できるかというところは今後議論が必要だと考える。	九十九里浜の侵食に係る問題は、県としても、防護・環境・利用の面からも喫緊の課題と重要認識している。現在、侵食対策計画の整備を進めるため関係者からの意見をいただき、それを基にシミュレーション検討業務を実施しているところであり、この結果は、定期的に関係者に情報共有を図っていきたいと考えている。また、地盤沈下に関しても沿岸測量による把握に努め、その結果は、今後の海岸保全計画の見直しなどに役立てていきたいと考えている。
8		侵食	A委員 堤防高を上げることに対しては、九十九里浜の海岸侵食をどう対処するのかを関連付けて検討しないと、全体として海岸保全に資するところまで行きつかない。		
9		進め方	委員長 海岸保全基本計画は、防護・環境・利用という3つの側面を考えながら立てていくものであり、防護の中でも津波・高潮・海岸侵食があり、海岸侵食というところが1つの視点として意見がたくさん出た。これから2年以上かけて海岸保全基本計画を改定することについて、今後事務局は、本日出した意見を生かしながら検討をすすめていってほしい。		